



2018年5月14日

各位

会社名 サン電子株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山口 正則
 (コード番号 6736 東証 JASDAQ)
 取締役 山本 泰
 問合せ先 管理本部長
 電話 052-756-5981

特別損失の計上及び業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2018年3月期において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、2018年11月10日に公表しました連結業績予想と本日公開の実績について、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失(のれん及び有形固定資産に対する減損損失)の計上について

のれんが発生した連結子会社について、取り巻く事業環境の変化に加え、注力地域においてビジネスの進捗が遅れる見通しとなり、当初策定した計画に対して遅れが発生いたしました。また、今後の事業計画を見直し、回収可能価額を慎重に検討した結果、連結子会社化時に発生したのれんの減損損失4億10百万円を計上することとなりました。当連結子会社は、IT関連のプラットフォームを中心に、海外も含めビジネス展開しており、当社グループの新規IT関連事業の重要な役割を果たすため、今後も持続的な成長の実現を目指して取り組んでまいります。

また、当社のエンターテインメント関連事業におきまして、将来事業計画を策定するにあたり、市場および事業環境の変化に伴う収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、当事業が保有する固定資産(工場用土地)について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失3億46百万円を計上することとなりました。エンターテインメント関連事業におきましては、今後も継続して競争力の確保およびコスト改善等による効率化を図り、一層の収益改善に取り組んでまいります。

2018年3月期連結決算における減損損失の計上額(特別損失への計上額)は、合計7億58百万円であります。

2. 2018年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異(2017年4月1日～2018年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	24,000	△1,500	△1,700	△1,200	△53円29銭
実績(B)	26,297	△1,074	△1,102	△1,293	△57円39銭
増減額(B-A)	2,297	425	597	△93	—
増減率(%)	9.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	24,698	141	△221	△581	△25円88銭

3. 差異の理由

利益につきましては、エンターテインメント関連事業について下期において制御基板等の販売が予測を上回り、堅調に推移し、営業損失、経常損失を縮小する要因となりました。ただ、上記のとおり特別損失を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純損失は前回発表予想を下回る結果となりました。

なお、2018年3月期の配当に関しましては、1株あたり配当金額20.00円を予定しており、配当予想の修正を行う予定はございません。

以上